



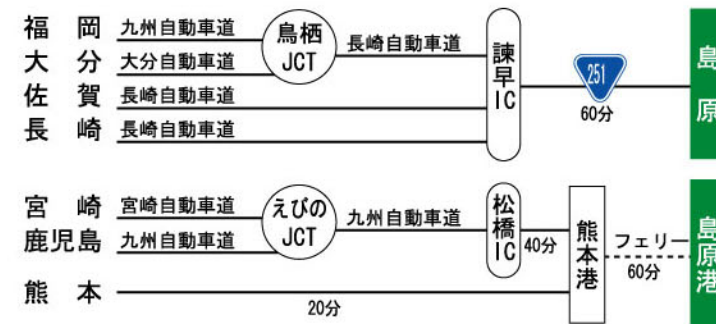
まぼろしの 邪馬台国

2008年11月1日 全国ロードショー

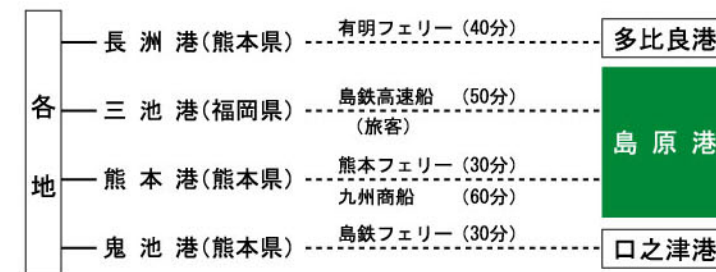
島原ロケ地マップ



■高速バス・自動車



■船・フェリー



■鉄 道



お問合せ先

島原市商工観光課 ☎0957-63-1111



魏志倭人伝に記述された、古代日本の手がかりとなる「邪馬台国」。日本古代史最大の謎といわれており、現在も学会ではその所在地に関して「九州」「近畿」「四国」など諸説をめぐって論争は続いている。

昭和42年、第一回吉川英治文化賞を受賞したベストセラー「まぼろしの邪馬台国」が発端となり、日本国中に「邪馬台国ブーム」が沸き起った。その著者は、島原鉄道の元役員で、「島原の子守唄」の作詩者でも知られる、盲目の郷土史研究家・宮崎康平。さだまさしの「関白宣言」に影響を与えた人物とも言われる。破天荒な言動、行動を繰り返しながらも、どこか憎めない人柄の宮崎。その傍らにはいつも妻・和子がいた。目の見えない康平に魏志倭人伝、日本書紀、古事記などを繰り返し読み聞かせ、立体地図を作って九州各地を旅した。執筆は康平の口述を和子が書き留めていくという共同作業。康平の夢はいつしかふたりの夢となっていたのだった。



〈出演〉吉永小百合(宮崎和子役)

竹中直人(宮崎康平役)

窪塚洋介 風間トオル 平田満 柳原可奈子 黒谷友香 麻生祐未
綾小路きみまろ 不破万作 大仁厚 岡本信人 大槻義彦 草野仁 井川比佐志
石橋蓮司 ベンガル・江守徹 大杉漣・余貴美子 由紀さおり

〈監督〉堤 幸彦 〈脚本〉大石 静 〈音楽〉大島ミチル

〈原案〉「新装版 まぼろしの邪馬台国」宮崎康平(講談社文庫)

〈卑弥呼のテーマ〉セリヌ・ディオソ「A WORLD TO BELIEVE IN ~ヒミコ・ファンタジア~」

©2008「まぼろしの邪馬台国」製作委員会

盲目の夫を支え続けた宮崎和子を演じるのは、日本を代表する映画女優・吉永小百合。水害による鉄道復旧で偶然に発見した土器から、邪馬台国を探し出すことへの執念を燃やす宮崎康平には、個性派俳優・竹中直人。また窪塚洋介、江守徹、大杉漣、余貴美子、由紀さおりなど実力派俳優に加え、人気お笑い芸人・柳原可奈子、中高年のアイドル・綾小路きみまろ、TVキャスター・草野仁、物理学者・大槻義彦など話題の人物の共演がなかった。脚本は大河ドラマ「功名が辻」NHKドラマ「ふたりっ子」等の大石静。監督は「明日の記憶」「トリック劇場版」など傑作、話題作を次々に生み出している堤幸彦。

2008年11月1日 全国ロードショー

市内中心部



↑宮崎香蓮さん(宮崎康平氏の孫)は、宮崎和子さんの少女期を演じています。[写真中央]

島原市内の主なロケ地

「宮崎康平」ゆかりの地



- 宮崎夫妻が巡った島原半島の主な遺跡**
- 守山大塚古墳(雲仙市吾妻町)
 - 高下古墳(鬼の岩屋)(雲仙市国見町)
 - 山の寺梶木遺跡(南島原市深江町)
 - 原山支石墓群(南島原市北有馬町)等

- 1 武家屋敷**
康平と和子が雪道を歩いているシーンと和子が玉子に恋人一馬のことを相談されるシーンを撮影。江戸時代、生活用水として使われた武家屋敷水路のせせらぎの音を聞きながら撮影が行われた。康平と和子が歩くシーンでは、特殊な機械で雪を降らせるなど大がかりなロケとなった。暖かいロケ弁にほっと一息。
- 2 長浜海岸**
和子は康平のプロポーズを受け、改めて家族となった4人が海岸を歩くシーン(「珍しい地形ですね」と周辺を散策された堤監督)。吉永さんと竹中さんが、ギャラリーに車の窓を開けて挨拶してください感謝。
- 3 銀座食堂**
和子が具雑煮のツケを断られるシーン。綾小路きみまろさん映画初出演。吉永さんや綾小路さんの姿にギャラリーは騒然。昭和の面影を残す一番街商店街銀座食堂でのロケ。昔ながらの具雑煮の味にスタッフもご満悦。
- 4 宮崎バナナ園**
広大な土地にバナナの苗が届き、農作業をしているシーン。当地では、今回最多のキャストを迎え、華やかな雰囲気となった。雪をかぶり、素晴らしい山容を見せる平成新山の麓、北安徳のビニールハウスで撮影が行われた。ロケで利用されたバナナの苗は、今、市内のあちこちで、すくすくと育っている。
- 5 七面山登山口**
邪馬台国を探す旅の途中、伊都国について康平と和子が話しているシーン。寒くはありましたが、快晴に恵まれた島原ロケ初日(2/27)。本映画の原作、康平夫人の宮崎和子さんも陣中訪問。
- 6 千本木湧水**
歩く二人。眠れる邪馬台国は何処に……。

- A 榊原郷土史料館**
島原市の貴重な郷土史料を展示しており、その一角には映画の劇中にも登場する、盲目の宮崎康平のために和子夫人が作った特製地図等を見学することができます。
- B 宮崎康平の碑**
有志によって建立された宮崎康平の記念碑。碑には「白いステッキにすがりながら、とほとほとまぼろしの国を探し求めてさまよい歩き」とあります。
- C 島原の子守唄像**
宮崎康平が作詞作曲した「島原の子守唄」。草履をはいた女の子が風車を持ち、背中におんぶした赤ちゃんをあやしている姿は、郷土の哀史を静かに表現しています。
- D 理性院大師堂境内の玉垣**
「島原の子守唄」のモチーフとなった「からゆきさん」(明治時代の海外出稼ぎ女性労働者)らの、望郷の思いを込めた浄財により建てられ、玉垣の石柱には寄進者の名前や居住地が刻まれており、知られざる当時の実態がうかがえます。

